

窓口支援事例 【岩手県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

企業情報

株式会社南山デイリーサービス

所在地	岩手県盛岡市（本社：青森県八戸市）		
ホームページ URL	http://www.minamiyama.co.jp/index.html		
設立年	2003 年	業 種	卸・小売業
従業員数	90 人	資本金	600 万円

企業概要

当社は、本社を青森県八戸市に置き、岩手・秋田両県に事業所を設け、森永乳業(株)様の乳製品の宅配を主な業務としています。また、「お客様に安心・安全な商品を心のこもったサービスと共に提供し、お客様の健康と笑顔を追求する」ことを使命と考え、宅配事業を単に物をお届けするということではなく、お客様とのふれあいが大切であると考え、社会的課題である高齢者生活支援事業として「お元気確認サービス（安否確認サービス）」、「移動スーパーとくし丸地区本部（買い物支援サービス）」を、またお客様の満足度向上を目指し「ヘルシーおいしい・簡単」の「レシピ宅配便」などのサービスの充実に努めています。

 南山デイリーサービス
Minamiyama daily service



自社の強み

乳製品の宅配事業は、少子高齢化や流通の多様化等の影響により消費が落ち込んでいます。当社は、これからの牛乳宅配業のあり方を社外の専門家とチームを組んで検討し、事業コンセプトを構築していく中で、私たちの仕事は「夫婦（家族）の絆・思いやり」のお手伝いに繋がると確信し、新しいビジネスモデルとして「Smile-i」（商標登録第 5975840 号）、「メッセージ付き宅配サービス・システム」の特許（「顧客情報更新装置及びコンピュータプログラム」特許第 6058104 号）を取得しました。



一押し商品

当社の「Smile-i」は S（シール）、m（メッセージ）、i（伝える inform）、l（暮らす live）、e（楽しむ enjoy）、l（愛）を表し、当社従業員がお客様を訪問する際に、シールをコミュニケーションツールとして使用します。シールには商品の主成分や家族のメッセージ、また幅広い世代の家族の似顔絵が印刷されていて、ご対応いただいたお客様が家族に対するメッセージを選択して商品に貼付します。貼付されたメッセージにより家族への思いが伝わり、家族間の会話や商品に興味を持ってもらうきっかけになります。使用されたシール等の情報はデータベース化し、顧客情報として管理し、社内で情報共有します。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

平成 26 年に同社社長が商品の消費落ち込みを心配し、社外専門家に事業コンセプト構築について相談していたところ、新規ビジネスモデルとなる Smile-i のビジネス方法の特許取得を提案され、旧知のコーディネータがいる岩手県よろず支援拠点に相談されました。その際に同よろず支援拠点から当窓口を紹介されたことがきっかけとなりました。

最初の相談概要

窓口では、同社社長が保護したい商品の販売・拡販用シールやそのシールを使用した手法とシステムについての技術の特徴と同社社長の事業内容・計画との関係を整理し、ビジネス関連発明の登録のための要件について説明を行い、新規のビジネスモデルの保護と活用について相談を行いました。

その後の相談概要

相談内容の技術的な整理を行った後、事業コンセプト構築について支援いただいた社外専門家にも同席いただいた上で当窓口の専門家（弁理士）相談を活用いただき、特許出願やその内容について検討を重ね、特許を出願し、震災復興支援制度の早期審査制度を活用して特許を取得しました。

窓口を活用して変わったところ

同社は Smile-i によって、苦戦が続く乳製品の宅配業界において、販売量の増加や 1 軒当たりの売り上げ増につながりました。この効果が大手企業に認められ、Smile-i に関するノウハウの実施許諾契約を結びました。また、この Smile-i を使用した宅配事業と高齢者安否確認事業とを組み合わせた取り組みが、公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センターの「平成 29 年度 21 あおもりアワード」を受賞しました。各種報道でも同社事業が数多く取り上げられています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

森永乳業商品をお客様にお届けする牛乳宅配業という業種から、当社は「知財」という言葉には全く縁がないと考えておりました。

社内で今後の牛乳宅配業の在り方を学ぶ機会があり、たまたま「よろず支援拠点」を訪問した際に知財総合支援窓口を紹介していただきました。

知財について教えていただくうちに、私どもの仕事にもたくさんの可能性があり、また、自社のサービスをブランド化し差別化していく点からも積極的に取り組むことが必要と考えるようになりました。お陰様で丁寧な指導によりビジネス関連発明の特許及び商標を取得することができ、業種・規模にかかわらず指導していただける知財総合支援窓口は当社にとって大切なアドバイザーです。

窓口担当者から一言（氏名：佐藤 清子）



同社社長の経営理念は「正直に誠実に」で、まさにその通りの方です。私のようなアドバイザーに対しても本当に誠実に対応して下さいます。Smile-i に関する知財の支援をさせていただいてから、現在では事業全体への知財活用を積極的に検討されるようになりました。今後も微力ながらと伴走させていただきたいと思っております。

窓口支援事例 【岩手県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

企業情報

株式会社南山デイリーサービス

所在地	岩手県盛岡市（本社：青森県八戸市）		
ホームページ URL	http://www.minamiyama.co.jp/index.html		
設立年	2003 年	業 種	卸・小売業
従業員数	71 人	資本金	600 万円

企業概要

当社は、本社を青森県八戸市に置き、岩手・秋田両県に事業所を設け、森永乳業(株)様の乳製品の宅配を主な業務としています。また、「お客様に安心・安全な商品を心のこもったサービスと共に提供し、お客様の健康と笑顔を追求する」ことを使命と考え、宅配事業を単に物をお届けするということではなく、お客様とのふれあいが大切であると考え、社会的課題である高齢者生活支援事業として「お元気確認サービス（安否確認サービス）」、「移動スーパーとくし丸地区本部（買い物支援サービス）」を、またお客様の満足度向上を目指し「ヘルシーおいしい・簡単」の「レシピ宅配便」などのサービスの充実に努めています。

 南山デイリーサービス
Minamiyama daily service



自社の強み

乳製品の宅配事業は、少子高齢化や流通の多様化等の影響により消費が落ち込んでいます。当社は、これからの牛乳宅配業のあり方を社外の専門家とチームを組んで検討し、事業コンセプトを構築していく中で、私たちの仕事は「夫婦（家族）の絆・思いやり」のお手伝いに繋がると確信し、新しいビジネスモデルとして「Smile-i」（商標登録第 5975840 号）、「メッセージ付き宅配サービス・システム」の特許（「顧客情報更新装置及びコンピュータプログラム」特許第 6058104 号）を取得しました。



一押し商品

当社の「Smile-i」は S（シール）、m（メッセージ）、i（伝える inform）、l（暮らす live）、e（楽しむ enjoy）、l（愛）を表し、当社従業員がお客様を訪問する際に、シールをコミュニケーションツールとして使用します。シールには商品の主成分や家族のメッセージ、また幅広い世代の家族の似顔絵が印刷されていて、ご対応いただいたお客様が家族に対するメッセージを選択して商品に貼付します。貼付されたメッセージにより家族への思いが伝わり、家族間の会話や商品に興味を持ってもらうきっかけになります。使用されたシール等の情報はデータベース化し、顧客情報として管理し、社内で情報共有します。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

平成 26 年に同社社長が商品の消費落ち込みを心配し、社外専門家に事業コンセプト構築について相談していたところ、新規ビジネスモデルとなる Smile-i のビジネス方法の特許取得を提案され、旧知のコーディネータがいる岩手県よろず支援拠点に相談されました。その際に同よろず支援拠点から当窓口を紹介されたことがきっかけとなりました。

最初の相談概要

窓口では、同社社長が保護したい商品の販売・拡販用シールやそのシールを使用した手法とシステムについての技術の特徴と同社社長の事業内容・計画との関係を整理し、ビジネス関連発明の登録のための要件について説明を行い、新規のビジネスモデルの保護と活用について相談を行いました。

その後の相談概要

相談内容の技術的な整理を行った後、事業コンセプト構築について支援いただいた社外専門家にも同席いただいた上で当窓口の専門家（弁理士）相談を活用いただき、特許出願やその内容について検討を重ね、特許を出願し、震災復興支援制度の早期審査制度を活用して特許を取得しました。

窓口を活用して変わったところ

同社は Smile-i によって、苦戦が続く乳製品の宅配業界において、販売量の増加や 1 軒当たりの売り上げ増につながりました。この効果が大手企業に認められ、Smile-i に関するノウハウの実施許諾契約を結びました。また、この Smile-i を使用した宅配事業と高齢者安否確認事業とを組み合わせた取り組みが、公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センターの「平成 29 年度 21 あおもりアワード」を受賞しました。各種報道でも同社事業が数多く取り上げられています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

森永乳業商品をお客様にお届けする牛乳宅配業という業種から、当社は「知財」という言葉には全く縁がないと考えておりました。

社内で今後の牛乳宅配業の在り方を学ぶ機会があり、たまたま「よろず支援拠点」を訪問した際に知財総合支援窓口を紹介していただきました。

知財について教えていただくうちに、私どもの仕事にもたくさんの可能性があり、また、自社のサービスをブランド化し差別化していく点からも積極的に取り組むことが必要と考えるようになりました。お陰様で丁寧な指導によりビジネス関連発明の特許及び商標を取得することができ、業種・規模にかかわらず指導していただける知財総合支援窓口は当社にとって大切なアドバイザーです。

窓口担当者から一言（氏名：佐藤 清子）



同社社長の経営理念は「正直に誠実に」で、まさにその通りの方です。私のようなアドバイザーに対しても本当に誠実に対応していただきます。Smile-i に関する知財の支援をさせていただいてから、現在では事業全体への知財活用を積極的に検討されるようになりました。今後も微力ながらと伴走させていただきたいと思っております。